

令和4年度進捗状況報告【就労支援部会】

【R5.3.23時点】

R4年度中の取組	<p>※1. 事業所間での交流会を積極的に実施していく。福祉サービス間の交流会に留まらず、就労・教育・医療といった多職種に渡る交流会への拡大を視野に入れて取り組んでいく。</p> <p>※2. 交流会・意見交換会による意見や課題感の集約の継続</p>
R4年度中の取組に関する具体的な方針	<p>※1. 昨年度はB型事業所間での交流会で留まってしまったが、A型事業所対象の交流会も実施する。福祉サービス間での交流会を継続しながら、企業・教育・医療といった多職種による交流会を企画していく。時勢によって活動を停滞させるのではなく、時勢に合わせた形で積極的に実施していく。</p> <p>※2. 協議会の運営会議や就労支援部会の事務局を活用し、課題の抽出から解決に至る仕組みづくりの強化について協議していく。</p>
実績	<p>【活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月12日 就労アセスマニュアル改定後評価会議実施 ・3月22日 就労支援部会研修会実施 テーマ:アセスメントについて 講師:NPO法人埼玉県障がい者就労支援ネットワーク 若尾氏 ・月1回の頻度で事務局ミーティング実施 <p>【活動成果】</p> <p>交流会を通じ、現場で利用者様と関わる機会の多い方や、サービス管理責任者の方々から支援における悩みなどを共有することで、ネットワーク作りができたと感じている。また、参加者の方々から他事業所を見学したいといった今後の活動につながる意見を聞くことができた。</p>
今後の予定	<p>【活動スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度中に実施できなかった事業所の見学会を実施する(優先度:高) ・交流会を開催し、事業所とのネットワーク強化・意見の集約を継続的に実施していく。また、事業所間での連携強化を通じ障がいのある方々が働きやすい地域を作っていくことを目標とした取り組みを実施していく ・就労を応援するセミナーの開催について検討 <p>【方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会は継続する。交流を通じ事業所間でのネットワークを強化していく中で、情報交換や協議による支援力の向上、悩みなどを共有することで支援者のモチベーション向上に努める。 ・見学会が実施できなかったことや各事業所の送迎範囲の共有等、未実施のままで年度を終えてしまった活動がある。こういったことを防ぐために部会長を中心に事務局を再編・拡張することで、見学会・交流会・セミナーにつての検討等、とりこぼしのないような運営体制を構築していく。 ・開催を断念せざるを得なかった就労を応援するセミナーの実施について、障がいのある方々、関係機関、地域のニーズを把握しながら実施について検討する。

令和4年度進捗状況報告【児童支援部会】

【R5.3.23時点】

R4年度中の取組	<p>※1. 研修企画及び移行支援に関する課題解決に向けた取組みの実施</p> <p>※2. 支援力向上や支援者の活力向上、課題共有等をしていくための事業所間ネットワークの強化</p>
R4年度中の取組に関する具体的な方針	<p>※1. 継続的に取組める体制を構築するため、前年度に協議した課題について、研修企画及び移行支援に関するワーキングチームを発足し、研修機会の創設及び移行支援体制の構築を目指した協議を実施していく</p> <p>※2. 各地域支援者が主体性をもって、地域で暮らす当事者となる方にとって、有益な議論が活発に行われるよう、放デイのつどいを継続的に実施していく</p>
実績 【R4年度下半期】	<p>【活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体会議…3/2(木) 1回開催 ○事務局会議…1/11(木) 1回開催 ○研修企画WT…10/12(水)、11/15(火) 2回開催 ○移行支援WT…2/21(火) 1回開催 ○放デイのつどい…10/31(月) 1回開催 ○研修会…12/7(水) 1回開催 「途切れない支援について考える」参加者:25名 <p>【活動成果】</p> <p>※1. 研修企画においては今年度、研修会を実施することができた。また、次年度研修に関しても協議がなされ、活動が活発化している。 移行支援では、地域事業所や行政機関各課の連携体制を強化するため、児童に携わる各支援機関の意見を聴収する機会を作った。</p> <p>※2. 放デイのつどい内にて、継続的に悩みや支援内容等についての共有を実施した。また、共有した遊び場等をGoogleマップに登録し、各事業所にて活用してもらい試験的な運用を開始していく。</p>
次年度の予定	<p>【方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体 課題の精査が少しずつ進み、他部会と連携し、課題の共有や調査を実施する。 ○研修企画WT 福井県小児科医会とスクラム福井の協力を得て、本部会主催の「支援力向上研修会(仮)」を年4回実施予定(対象者:障がい福祉サービス従事者、保育士、教員、その他の関係者全般) ○移行支援WT 移行支援の現状について考える ○放デイのつどい 事業所間ネットワークの強化を図り続けられるよう、継続的に開催する。

令和4年度進捗状況報告【精神障害者支援部会】

【R5.3.23時点】

<p>R4年度中の取組</p>	<p>※1. 継続して精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて検討していく</p> <p>※2. 当事者、家族の参画に向けて協議</p> <p>※3. 精神保健福祉の連携会議を開催する</p> <p>※4. 坂井地区としてのデータから指標となる数値目標について検討する</p>
<p>R4年度中の取組に関する具体的な方針</p>	<p>※1 令和3年度の実績を踏まえて、「にも包括」構築に向けて、引き続き県立大学の岡田准教授に部会アドバイザーを依頼し、助言をいただきながら協議していく。(事務局MT)</p> <p>※2 当事者がある人らしく生活できるような支援体制づくり、また、当事者や家族の意見を取り入れやすい仕組みづくりなどを協議する。(包括ケア推進会議、年4回予定)</p> <p>※3 多職種による連携はニーズも高く、参加者それぞれが成果を感じることができているため、今年度も開催する。当事者の参画についての提案もあったため、それを踏まえて開催方法などを協議する。(精神保健福祉連携会議 年1回予定/包括ケア推進会議 年4回予定)</p> <p>※4 課題等の検証の指標になるようなデータを模索し、設定して数値目標とする。既存のデータになれば、今後蓄積していけるようにする。(事務局MT 年6回予定/包括ケア推進会議 年4回予定)</p>
<p>実績</p>	<p>【活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務局MT 5回(/6回)実施 ○包括ケア推進会議 4回(/5回)実施 ○昨年に引き続き、県立大学岡田准教授をアドバイザーとし、坂井地区の方向性や協議内容などの助言を受け、進めてきた。 ○坂井地区精神障害者支援部会 精神保健福祉連携会議開催 テーマ「坂井地区における精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムを目指して」 ～当事者も、家族も、地域も、支援者もみんな同じ景色を見るために vol.2～ ・コミュニティーソーシャルワーカーの方に登壇いただき、役割などをご紹介いただいた。 ・社協の地域づくりの視点や、地域で障害者を受け入れるという視点を共有することができた。 <p>【活動成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○包括ケア推進会議にて、各分野の専門職にて、精神障害者の支援体制協議を実施。当年度で3期目。枠組みが定着したと考える。 ○当年度は、当事者や家族意向の反映を焦点に活動をスタートしているが、特に当事者参画の面でアプローチ方法に関する様々な議論があった。まずはアンケート調査にて実態把握をしていくという流れになったが、当年度中の実施には至らず。次年度持越しとなる。 ○地域包括ケアシステム構築に向けて、地域住民の参画につなげていくステップとして、コミュニティーSWを交えた連携会議を開催した。
<p>今後の予定</p>	<p>【活動スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務局MT 概ね4半期に1回 ○包括ケア推進会議 概ね4半期に1回 ○精神保健福祉連携会議 年1回 ○アンケート調査活動 適宜 <p>【方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○精神障害者がいきいきと生活していける地域の体制づくりを目指す。いわゆるフォーマルサービス機関の連携の枠組みを継続しつつ、体制づくりに当事者や地域住民の参画できるような部会運営につなげていく。令和5年度は以下の通りすすめる。 ○継続して坂井地区の精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて検討していく ○アンケート調査を通じて、坂井地区の精神障害者の現状を把握する。 人数だけでなく、入院期間や退院の意思、本人の希望などを含む ○精神保健福祉の連携会議を開催する



令和4年度進捗状況報告【権利擁護部会】

【R5.3.23時点】

R4年度中の取組	<p>※1. 権利擁護に関する地域の実情を把握し、必要な取り組みを実施する。</p> <p>※2. 地区内の支援者が障害者虐待防止の取り組みを学び、支援について他事業所の支援者と語り合う機会を作る。</p>
R4年度中の取組に関する具体的な方針	<p>※1. 各専門部会の代表者を委員に招集する。実行委員会で挙げた話題を各専門部会に持ち帰り、また各専門部会で挙げた権利擁護に関する話題を委員会に持ち込む等、連携を図り地域の実情を把握し、課題解決に向けた取組を検討・実施する。</p> <p>※2. 研修会等を企画し、障害者虐待の防止に関する意識の向上や日々の支援を振り返る機会を作り、支援の質の向上を図る。</p>
実績 【R4年度下半期】	<p>【活動実績】</p> <p>実行委員会を2回開催</p> <p><u>第3回 12月13日</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情共有 ・研修の企画立案 ・県虐待防止・権利擁護部会報告 <p><u>第4回 3月14日</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の振り返り ・今年度の取りまとめ <p>研修会の開催</p> <p>2月28日 参加者数 88名</p> <p>【テーマ】 意思決定支援について</p> <p>【講師】 和泉短期大学 児童福祉学科 教授 鈴木敏彦 氏</p> <hr/> <p>【活動成果】</p> <p>・サービス提供事業所の支援者、社協、当事者家族、行政など様々な立場の方が一堂に会する実行委員会で各委員の立場から地域の権利擁護に関する実情を共有することが大変有意義であった。挙げられた話題をそれぞれの立場で受け止め、対応や有効活用につながるきっかけとなった。（行政による代理投票制度に関する保護者向けリーフレット作成など）</p> <p>・『意思決定支援』をテーマに研修会を開催。80人を超える参加人数で大盛況であった。支援者の意思決定支援に関する関心の高さを感じ、より実践につながる研修が求められていることも明らかとなった。</p>
次年度の予定	<p>【方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会では令和4年度同様に各委員より各部会や地域の権利擁護に関する話題をあげてもらい共有・検討する。研修会開催に向けての協議も行う。 ・これまで部会で話題に挙げた内容（選挙に関するリーフレットなど）について、現状確認やより良いものへの発展等を目的に再度取り扱う機会を作っていく。

令和4年度進捗状況報告【相談支援事業所連絡会】

【R5.3.23時点】

R4年度中の取組	<p>※1. 相談支援専門員の継続的なフォローアップやスキルアップ</p> <p>※2. 地域課題になり得る話題があがった際に、その検証や今後の活動につなぐ。</p>
R4年度中の取組に関する具体的な方針	<p>※1. 相談支援専門員の相互によるフォローアップやスキルアップが図られるよう、事例検討会等を行う。 各層相談員どの役割であっても、相談支援の目的と基本的視点をもって相談支援業務を実施できるよう、学びを深める。</p> <p>※2. 定期的に地域課題を意識した話し合いの場を確保するとともに、出てきた話題を共有しながら、課題解決に向けた活動の提案等をしていく。</p>
実績 【R4年度下半期】	<p>【活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有会（相談員間の情報交換、意見交換）・・・3回 ・グループスーパービジョン・・・2回 ・研修会・・・1回 ・企画MT（基幹C、委託相談、計画相談の相談員にて構成）を11.1.3月に実施 <p>【活動成果】</p> <p>○情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般就労に関する支援体制の確認 ・相談支援事業の複数事業所による協働体制の実践報告 <p>○事例検討会⇒GSV</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野中式事例検討会をグループスーパービジョンに変更。1度に検討する事例・・・1⇒3 ⇒地域資源の共有 ⇒相談員自身が抱えている課題へのアプローチ <p>○相談支援事業所を対象とした研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員のミッション、価値 ・地域を基盤としたソーシャルワーク ・”「くらし」について検討する場」の検討に係る聞き取り調査を進めている ⇒次年度中に取り纏め、拠点検証委員会等と共有しながら設置検討を進めていく <p>（実施できなかったこと等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援体制の見直しに向けた課題抽出への協力（未実施のため） ・地域課題の抽出
来年度の予定	<p>【方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースの課題や地域資源等を共有しながら、地域課題等の抽出を実施 ・地域へ提供される相談支援の提供維持及び質の向上を目的に、フォローアップ・スキルアップを図る ・相談支援体制の見直しに向けた課題抽出への協力